

分担金・拠出金の名称		アセアン留学生交流等拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名		アスジャ・インターナショナル		
国際機関の概要		・アスジャ・インターナショナル(以下、アスジャ)は、ASEAN諸国の元日本留学生会の連合体として1977年に設立されたASEAN元日本留学生評議会(通称ASCOJA)の日本側カウンターパートとして2000年に設立された。意思決定機関は、ASEAN10か国の元日本留学生会の幹部及び日本理事で構成される国際理事会。 ・アスジャは、ASCOJA傘下の10か国の各元日本留学生会から推薦された留学生を対象に、日本文化や生活習慣、日本人との交流を直接体験する交流事業を実施し、将来我が国とASEAN諸国間の友好協力関係の中核的担い手となる親日派・知日派を養成・支援する。また、ASCOJAネットワークの強化を支援する。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況		
1. (1) 成果目標:日・ASEAN関係の更なる拡大及び我が国外交課題(ASEAN諸国との青少年交流)の遂行をするために、アスジャの事業を通じて、ASEANの留学生交流を拡大する。 活動指標:ASCOJA傘下の元日本留学生から推薦された留学生を対象とした交流事業の実施、オンライン・プラットフォームの構築、運営管理及び人的交流・ビジネス交流を念頭においた分野別シンポジウムの実施を通じてASCOJAネットワークの強化を支援		H26年度は、交流事業として、のべ43名の留学生を対象に、オリエンテーション、新入生歓迎会、ホームステイ、日本人大学生との交流事業、ボランティア活動、国際理解教育(留学生が小学校を訪問して自国文化を紹介)、アセアン祭り、日本文化体験(茶道、歌舞伎)、日本生活体験研修(京都研修)、日本企業見学、研修合宿、修了式を実施し、我が国外交課題であるASEAN諸国との青少年交流において実績をあげた。 なお、アスジャ設立からこれまでにアスジャのプログラムを修了した留学生は104名に達し、アスジャ・ASCOJAネットワークを形成しつつ、留学説明会や日本語関連イベント等を各国で実施する等、日々我が国との外交上も友好協力関係を担う架け橋となって活躍している。 (オンライン・プラットフォームとシンポジウムは平成27年度新規の事業) アスジャは、ASCOJAのカウンターパートとしての性格を有する、外務省が外交戦略上発足を支援した組織であり、将来我が国との架け橋となるASEANのリーダーを養成すべく、ASCOJAからの推薦留学生を継続的に受け入れ、その特定の留学生に対し継続的に交流事業を実施している機関はアスジャの他にはない。		
(2) 成果目標:アスジャの意思決定機関である国際理事会における我が国のプレゼンスの維持 活動指標:国際理事会における日本理事の維持、国際理事会における日本政府関係者による直接発言の機会の確保		アスジャの日本理事は日本政府が指名・任命することになっており、国際理事会において我が国のプレゼンスは確実に示すことができている。更に、国際理事会には毎回日本政府職員が参加することになっており、発言の機会も認められる。 また、国際理事会の前段階で、審議事項について、アスジャ事務局から日本政府に事前に確認依頼があり、日本政府の意向を確実に反映することができている。加えて、アスジャ事務総長・事務局からは、アスジャの事業実施についても必要に応じ都度日本政府に相談がある。		
(3) 成果目標:アスジャの組織・財政マネジメントの適切性を確保する 活動指標:他の団体・組織の取組へのアスジャの協力・支援、アスジャの組織・財政マネジメント向上努力		アスジャの予算要求(拠出金)に際しては、日本政府と綿密に擦り合わせを行っている(従って、アスジャは、事業内容について予算要求の段階で日本政府の意向を汲んでいることになる)。また、アスジャの事務局の組織・財政改革として、人件費を削減(事務総長の無報酬化と事務局職員数の削減)し、事務局運営費を削減した。		
(4) 成果目標:アスジャ事務局における邦人職員の適切数の維持 活動指標:邦人職員の適切人数の維持		アスジャ事務局職員は、アスジャ事業を実施する必要最低限の適切な邦人職員数(3名)を維持している(事務局職員は全員邦人)。邦人幹部職員(事務総長・無報酬)を確保している。		
2. PDCAサイクルの確保		①Plan:日本政府と連携の上、アスジャ事務局が事業計画案及び予算案を作成(我が国とアスジャ事務総長・事務局関係者とは上記(2)のとおり個別協議が可能な関係にある。)、国際理事会で承認を得る。②Do:予算の拠出を受けて、アスジャ事務局はASCOJA側と連携し、事業計画に沿って事業を実施する。③Check:収支決算につき、外部による監査を受ける。④Act:国際理事会において、必要に応じて改善等の提言。 アスジャ事務総長・事務局からは、事業計画案、予算案、事業の改善等についても必要に応じ都度日本政府に相談する体制ができている。		
担当課・室名		外務報道官・広報文化組織 人物交流室		